

# 市民をつなぐ木漏れ日の杜 —にぎわいの中心となる市庁舎へ—

府中らしい庁舎の設計理念  
**1 木漏れ日がつくる府中のにぎわい**

府中のにぎわいは、歴史あるヤキギ並木のつどろきやうきなどの木漏れ日にもあります。木漏れ日をつくるルーフレバーにより、駅から大規模神社へ続くにぎわいを広場と庁舎につなぎます。



**2 まちと歴史をつなぐ「こもれび広場」**

けやき並木のにぎわいを導き入れる大きなオープンスペースは、2つの駅をショートカットでつなぐ利便性の高い市民広場となります。高層部は庁舎機能を集約し、圧迫感のないコンパクトなタワーとします。

武蔵国府のにぎわいを継承する歩行者空間

**3 市民等との協働を支える機能及び他公共施設との連携**  
**協働のプラットフォームとなる「市民のえんがわ」**

こもれび広場に沿って、多様な市民活動の舞台となる「市民のえんがわ」をつくります。「学ぶ」「発信する」「交流する」の3つのエリアと広場がゆるやかにつながって、フレキシブルで軽やかな市民協働の拠点となります。

また、庁舎機能を1期工事に集約することで、「市民のえんがわ」は機能も自由な計画が可能となります。設計の初期段階から市民や行政との対話を重ね、市民が主役となる協働を共につくります。

